

第3回津別町議会臨時会『行政報告』

はじめに、ふるさと納税についてであります。平成28年度1年間の寄附の状況につきましては、2,841件、116,951千円で、前年度の1,195件、31,205千円に比較し大幅な増加となりました。理由としましては、制度の定着がブームを呼んでいる中、返礼品の充実や「ふるさとチョイス」というインターネット専門サイトへの掲載効果が大きいと考えるところです。

4月1日付けで総務省よりふるさと納税に係る返礼品の送付等についての通知を受け、資産性の高い返礼品や高額な返礼品について見直しを検討しているところですが、引き続き、津別町の特産品の魅力を広めながら、寄附の拡大に努めて参ります。

次に、交通安全推進運動についてであります。4月11日、生活改善センターにおいて、事業所や自治会関係者など町内全域から200名ほどの参加を得て、交通安全推進町民大会を開催いたしま

した。

昨年3件もの死亡交通事故が連続して発生し、町民を含む3人の尊い命が失われたことから、この大会において町民による交通死亡事故ゼロ日運動と町内における交通事故死ゼロ日運動の目標をいずれも500日と確認し、目標達成に向け、関係機関はもとより町民の皆さまとともに運動を展開し、悲惨な交通事故のない明るいまちづくりに努めて参ります。

次に、まちなか再生事業についてであります。4月25日に第2回複合庁舎建設等調査特別委員会が開催され、複合庁舎建設等まちなか再生基本計画策定業務について、指名型プロポーザルにて委託事業者を選定する方針等を協議したところです。プロポーザル委員会のメンバーは、副町長、住民企画課長に加え、外部有識者として原田英機総合戦略会議会長、水上隆まちなか再生協議会会長、荒川博明自治会連合会会長、大澤義明筑波大学教授、加藤研^{おさむ}筑波大学助教の7名とし、4月27日に第1回委員会を開催したところです。会議では、業者選定の取り進め等について協議いただき、5社を指名し提案書を提出してもらった後、5月31日に一般公開によりプレゼンテーションを実施のうえ審査を行い、業者を選定することなどが話し合われたところです。これらの手続きを経て6月中旬まで

には、委託事業者と契約を締結する予定としているところです。

次に、北海道立林業大学校誘致期成会の設立についてであります
が、道内の森林の保全・管理における担い手不足が深刻な状況にあ
る中、北海道が設立を検討する林業大学校を、豊かな森林環境に恵
まれ、林業・林産業に関する多くの企業が存在し、森づくりや木材
利用を担う人材育成に適した環境である津別町に誘致しようと、5
月9日、林業研修会館において、町内の企業・団体の関係者63名
が出席し設立総会が開催されました。

今後は、誘致に向けた陳情や要請活動、林業関係各機関や行政各
機関との連携・協力、啓発資料の作成・配布によるPR活動などに
取り組んでいくことが確認されたところであり、町としましても、
その役割をしっかりと果たして参ります。

次に、台湾二水郷訪問団受入れ事業についてであります。5
月19日から21日の日程で、二水郷郷長他15名の訪問団が来町
されました。来町初日の19日には、中央公民館において友好都市
提携5周年記念式典を挙行し、「友好都市提携協定の精神を引き継
ぎ、互恵かつ恒久的な親善関係を築くべく共に一層の友好発展に努
める。」とした宣誓証書に署名し交換したところです。また、式典で
は台北駐日経済文化代表処郭仲熙副代表による「最近の日台関係」と

題する記念講演が行われ、その後、津別町と津別町議会、津別町日台親善協会合同による夕食交流会が実施されたところです。この催しには、110名の関係者が出席し、津別町郷土芸能山鳴り太鼓保存会による太鼓とRECつべつによるリコーダーの演奏が披露されました。

20日は、認定こども園、丸玉産業、山上木工、サンマルコ食品を見学し、さんさん館では山田照夫氏による日本初のオーガニック牛乳誕生の講演などを行ったところです。

この度の二水郷訪問団の受入れに際しましては、北見工業大学のきゆう 邱助教及びやん 楊助教に通訳をお願いしたところですが、今後の交流事業を進めるにあたり、この繋がりを大事にしていきたいと考えているところでもあります。

なお、本年7月には、二水国民中学校生徒が本町を訪問する予定であることから、学校関係者をはじめ津別町日台親善協会と連携して受け入れを行って参ります。

次に、地域おこし協力隊についてであります。5月22日に上里地区を中心に自然ガイドや体験プログラムの企画・運営等を中心に活動するならまきこ 奈良真紀子さんが着任されました。NPO法人森のこだまの活動を手伝いながら、津別の観光の活性化に取り組むところで

あります。

6月にはさらに2人の協力隊員を募集する予定ですが、残念ながら昨年着任しました藤原世利子さんにつきましては、諸事情により2月末に退任し、4月に転出したところであります。

今後とも地域おこし協力隊の制度の活用とともに、隊員の永住に向けて支援して参りたいと存じます。

なお、今議会におきまして、人事案件、条例制定等の議案を提出いたしますので、慎重にご審議の上、原案にご協賛賜りますようお願い申し上げます。